

すべてのAIDSに苦しむ人々のための祈り

慈しみ深い父、神よ、いま、すべてのAIDSに苦しむ人々に心を留めてください。そして、私たちの願いを聞き入れてください。

あなたはひとり子イエスを通して、病人を慰め、力づけてくださいました。

憐れみ深い主よ、治すことができない治療を生涯にわたって続け、その副作用も負い続けるすべてのAIDS患者の体の苦しみを、和らげてください。

そして、治療を受けることすらできないまま、これほどまでに世界に広がり続けるすべてのAIDS患者に、救いの手を差し伸べてください。

唯一の救い主であり、いのちを愛してくださる主よ、「あなたは何でもおできになります（マルコ 14・36）」。

AIDSの予防や撲滅、啓発、治療、研究をはじめ諸々のいのちに仕える活動に携わる人々に、忍耐と知恵とお授けください。

神の子である主イエス・キリストは「隣人を自分のように愛しなさい（マタイ 22・39、マルコ 12・31）」と仰せになりました。

AIDS患者は、共に生きる人々がもつ偏見や誤解に怯え、深い疎外感と孤独におかれ、体の苦しみに加えて、心の苦しみを負っています。

ひとときも早くAIDSに対するいかなる差別もこの地から取り除かれ、AIDS患者が共に生きるよろこびを取り戻し、仰せになった隣人愛が全うされるよう、どうか私たちを導いてください。

✠ 私たちの主イエス・キリストによって。アーメン。

====

- * HIV感染症・後天性免疫不全症候群（AIDS）に罹患している方々を、ここでは「AIDS患者」としています。
- * 生涯続く治療と副作用、AIDS疾患そのものの「体の痛み」、そして治療すら受けられないAIDS患者への救い、偏見や誤解に怯える「心の痛み」、そしてAIDSに関わるすべての分野の人々のたゆまぬ支えが必要なことを、この祈りの中に整理しています。
- * 「何でもおできになります（マルコ 14・36）」のみ言葉に、治療法が見つからないが、いつかきっと完治する治療法が発見されるはずだ…というすべてのAIDS患者・医療に従事される方々共通の希望を託しています。
- * 聖書引用箇所は「新共同訳聖書」によりました。